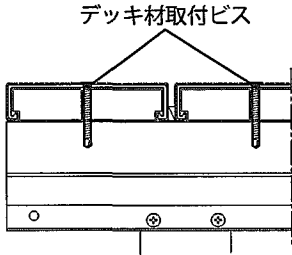


木樹脂デッキⅡ 上止め式デッキ材 取付説明書

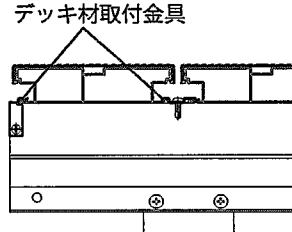
このマニュアルは、「木樹脂デッキⅡ」に上止め式のデッキ材を取付ける場合を説明しています。「木樹脂デッキⅡ」取付説明書 (ME-1738) と併用してください。点検口の組立については、「4.点検口の組立」を参照してください。

●木樹脂デッキ (上止め式デッキ材)

※このマニュアルでは、上止め式のデッキ材をビス止めする方法を説明しています。



●木樹脂デッキⅡ (取付金具を使用する場合)



1 デッキ材の切詰めと鼻隠し取付金具の取付け

「木樹脂デッキⅡ」取付説明書 (ME-1738) 42 ページの「3-1」と「3-2」を参照して、デッキ材を切詰め (必要な場合)、鼻隠し取付金具を取付けてください。

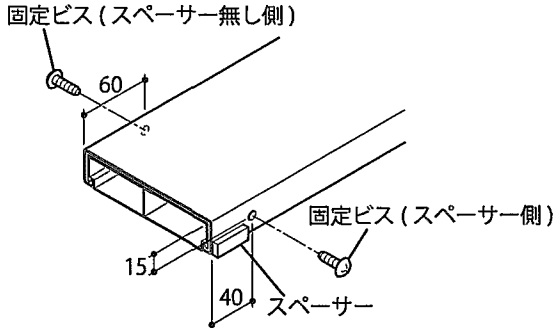


デッキ材側面の固定ビス取付位置は、下図を参照してください。

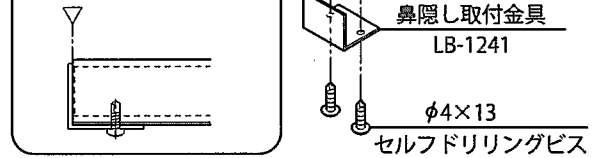


デッキ材底面には、鼻隠し取付金具用のガイドラインはありません。

※スペーサーあり側となし側の寸法のちがいに注意してください。



金具をデッキ材端部 (樹脂部) に合わせる



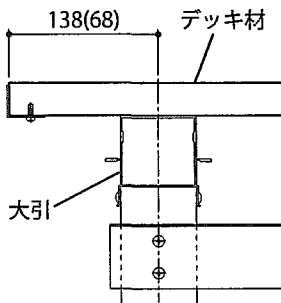
2 デッキ材の取付け

デッキ材の取付について不明な箇所があれば、「木樹脂デッキ」組立施工マニュアル (ME-1382) を参照してください。

●標準デッキ材側面



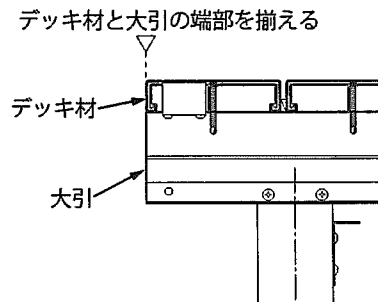
デッキ材小口側を大引中心から 138mm 出した位置で取付けてください。



●デッキ材小口面




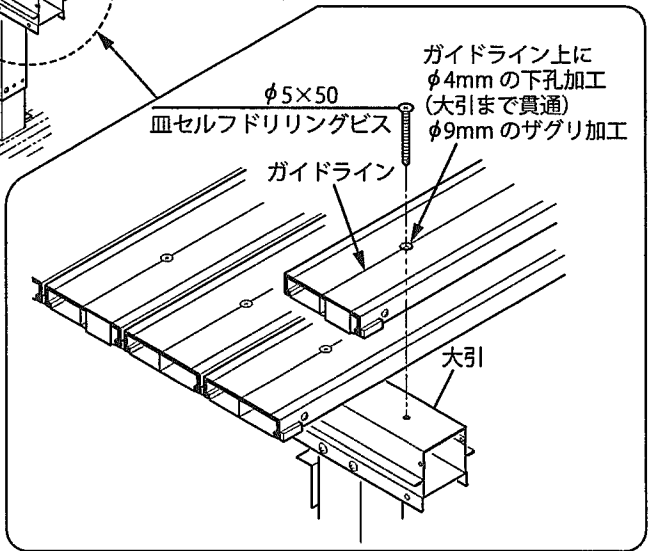
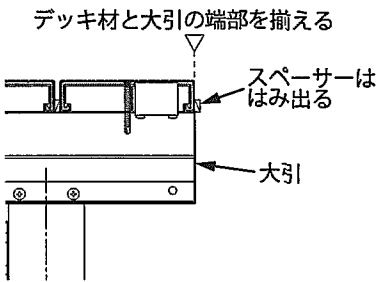
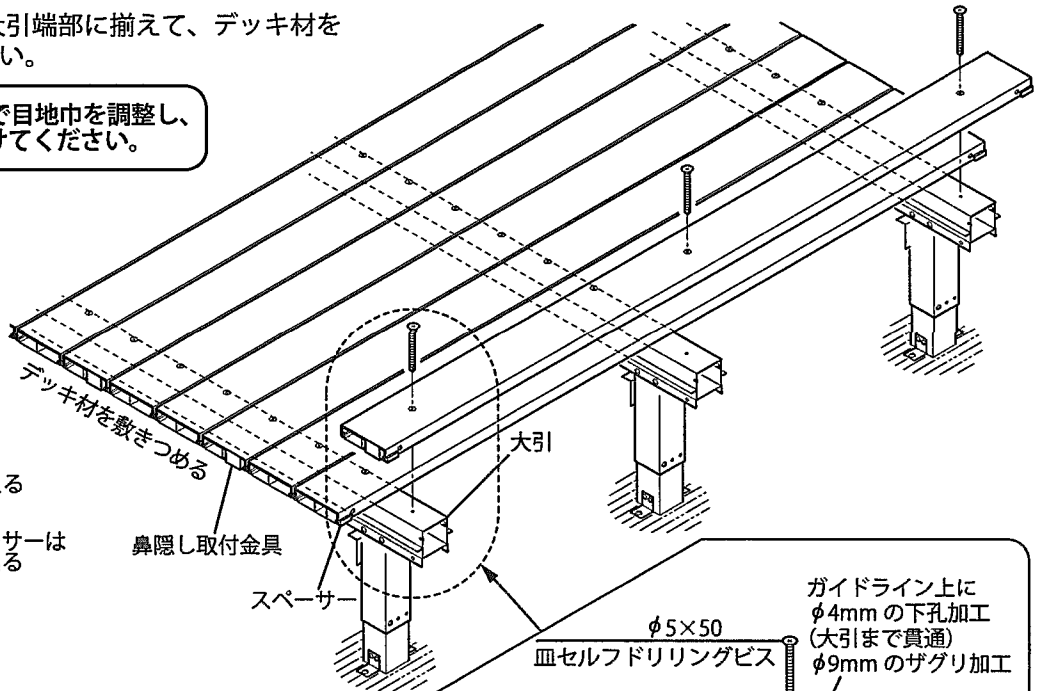
デッキ材側面と大引端部を揃えてください。



※ () 内の寸法は、デッキフェンス間柱タイプの埋込柱を使用する場合を示す。

①両側のデッキ材側面を大引端部に揃えて、デッキ材を大引上に敷きつめてください。

 最後の7~8枚で目地巾を調整し、デッキ材を取付けてください。

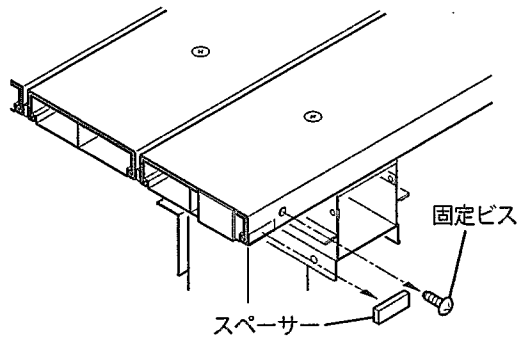


②デッキ材を、皿セルフドリリングビスで大引に取付けてください。


注意

- 皿ビスの頭がデッキ面以下になるようにしてください。
- ビス部分に樹脂のささくれ等が発生した場合は、必ずヤスリで仕上げてください。

※デッキ面が仕上がっていないと、ケガの原因になります。



③両側のデッキ材側面のスペーサーと固定ビスを取外してください。

 スペーサーはカッター等で切り落としてください。無理にはがすと、デッキ材本体が割れるおそれがあります。

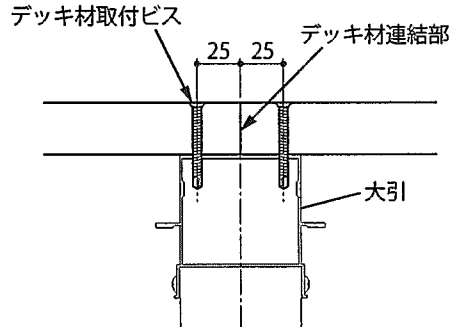
3 デッキ材の連結

デッキ材の連結部が大引の中心になるように取付けてください。

注意

デッキ材端部から25mm以上の位置にビス止めしてください。

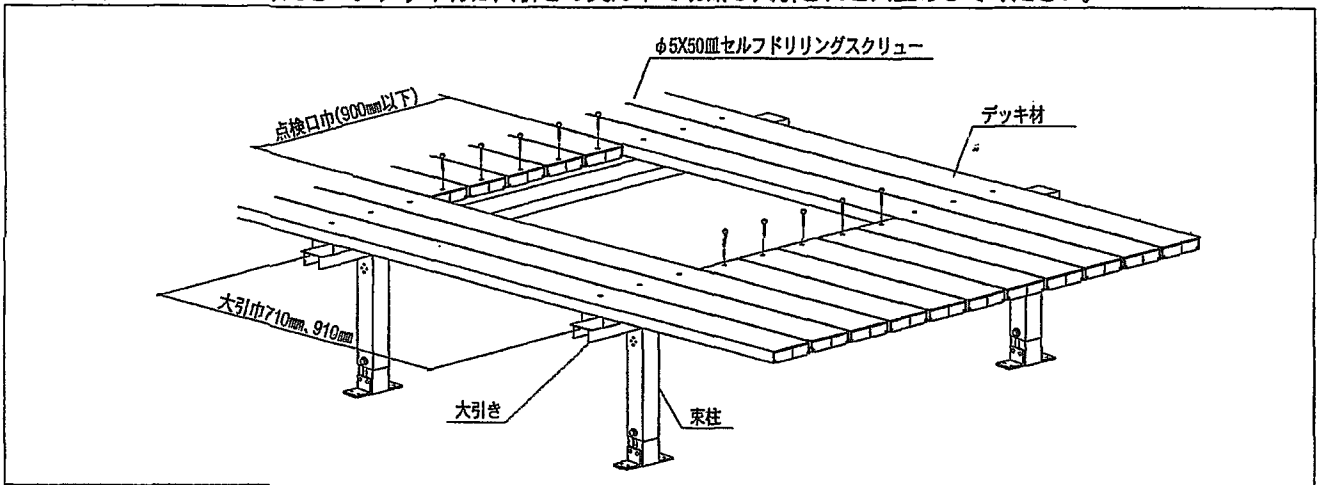
※ビスがデッキ材端部に近いと、樹脂カバーが割れるおそれがあります。



4. 点検口の組立

1) 点検口部分のデッキ材の加工

点検口を設ける部分のデッキ材を切断してください。点検口は大引きと大引きの間だけに設けるようにしてください。デッキ材は大引きの真ん中で切断し大引きにビス止めしてください。



2) 点検口蓋の作成

デッキ材を上図の大引き巾 (710mm、910mm) に、大引きを点検口巾より60mm短く切断し、デッキ取付用ビスでデッキ材と大引きを組立てください。(ビスを打つ時は下穴、ざぐり加工をしてください。)また、手掛けを付ける場合は木樹脂カバ材からアルミの心材を引き抜き、アルミの心材を40mm切断してください。さらに樹脂部分を図のように加工してください。(樹脂部分は加工後ヤスリ等で仕上げてください。)

